

ごあいさつ

みなさまには、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここにディスクロージャー誌「第109期営業のご報告(平成28年4月1日～平成29年3月31日)」を作成いたしましたので、ご高覧いただきたいと存じます。

本誌では、決算概要や業務内容、地域貢献に関する取組状況などをまとめており、当行について一層のご理解を深めていただければ幸いです。

地域金融機関を取り巻く経営環境は、顧客ニーズの多様化や金融機関同士の競争激化により厳しさを増しておりますが、地元鹿児島を中心とした地域経済の活性化に取り組むことが、当行の継続的な収益の確保にも繋がるものと考えており、平成26年4月から平成29年3月までの3年間、当行が独自に取り組んでいる新販路コンサルティング「WIN-WINネット業務」を中心施策とする第三次経営強化計画に取り組んでまいりました。

平成29年度からスタートする第四次経営強化計画においても、「WIN-WINネット業務」を更に深化・発展させ、「本業支援」や「事業再生支援」、「創業・新事業支援」等により、当行が地域を支え、底上げするとともに、お取引先とのリレーションを強化し、みなさまのご支援にお応えできるように銀行全体で取り組んでまいります。

今後とも「地域に密着し、真に地域の発展に役立つ銀行」を目指してまいりますので、みなさまにおかれましては一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



取締役頭取 森 俊英

平成29年7月

取締役頭取 森 俊英

CONTENTS

- 当行の考え方 1～3
- 中小企業の経営の改善及び
地域の活性化のための取組みの状況 4～7
- 平成29年3月期業績ハイライト(単体) 8～10
- 地域とお客さまの発展のために 11～14
- 組織・ネットワーク 15～18
- 資料編 19～61

シンボル・マーク



「南日本銀行」の頭文字「M」をデザイン化したものです。楕円の1つは南日本銀行であり、もう1つは地域を表現しています。

2つの楕円が緊密な結合をし、地域と銀行、お客様と銀行、人と人との密接な関わり、信頼関係、また、銀行内のしっかりした団結をも意味しています。

「M」は変化し、限りなく拡大するイメージを想起させ、互いに寄り添い、シンプルな形状の中にも、銀行の持つ力強さ、未来性が表現されています。

本冊子は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料(業務及び財産の状況に関する説明書類)です。本資料に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。

当行の概要



本店所在地	鹿児島市山下町1番1号
創業	大正2年9月4日
資本金	166億1百万円
店舗数	本支店64カ店 (本支店61・出張所3)
従業員数	926人 (嘱託・パート・出向者含む)
主要勘定(単体)	総資産 7,791億円 預金残高 7,249億円 貸出残高 5,662億円 (平成29年3月末現在)